

# 浪江町に「復興牧場」整備へ



## 酪農復興事業に関する連携協定を締結

6月3日、浪江町は、福島県酪農業協同組合（県酪農協）および全国酪農業協同組合連合会（全酪連）と、酪農復興事業に関する連携協定を締結しました。

町では、整備を予定している「復興牧場」（棚塩地区）の畜産農家と、町内の米や野菜などを生産する農家が、堆肥や飼料を相互に供給（耕畜連携）することで、循環型農業を構築する計画であり、東日本大震災および原発事故からの「農業再生」を目指します。



協定書を手にした(左から)砂金会長、吉田町長、宗像組合長

また、ICT（情報通信技術）を活用した自動給餌装置、ロボット技術を活用した搾乳機器など、最新技術の導入を予定しており、県内では、最大規模の牧場となります。

締結式で吉田町長は、「牧場の堆肥を農地に還元し、農地の地力回復、生産性向上を図りたい」と話し、宗像県酪農協組合長と砂金全酪連会長はそれぞれ「浪江町の美しい農村風景を取り戻したい」「新規就農者や後継者の育成にも取り組みたい」と協定にける思いを語りました。

町では震災前、全農家の1割程度（95戸）が酪農・畜産に関わっていました。しかし、長期にわたる町外への避難や、施設・設備の劣化などにより、再開した畜産農家はいまだにないことから、この度の協定が、「耕畜連携」による循環型農業の促進、さらには「持続可能なまちづくり」の実現に向けた大きな原動力となることが期待されます。

### 協定項目

- 畜産振興・耕畜連携体制の構築
- 復興牧場の整備建設
- 復興牧場の運営
- 酪農復興事業に関する人材の確保・育成

### 牧場概要

- 敷地面積  
約24ヘクタール  
(施設面積 約5ヘクタールを含む)
- 主な施設  
牛舎、搾乳舎、堆肥舎、バイオガスプラントなど
- 生産品目  
生乳（年間1万トン）、  
堆肥（年間1万2,000トン）など
- 飼育頭数  
約2,000頭（乳牛1,300頭を含む）



問 農林水産課農政係  
Tel 0240(34)0245